

内閣府国際平和協力本部事務局主催

第5回国際平和協力シンポジウム

『アフリカ・中東地域での平和維持活動を取りまく課題』

平成26年1月29日(水) 13:30~18:00

国連大学ビル5階 エリザベス・ローズ・ホール

プログラム

掲載ページ

総合司会：福島安紀子 東京財団上席研究員	
開会挨拶：高橋礼一郎 内閣府国際平和協力本部事務局長	1
基調講演：明石康 日本政府代表 スリランカ平和構築及び復旧・復興担当	4

セッション1

「国連・地域機構によるアフリカの平和維持活動の現状と課題」

<パネリスト>

都築正泰 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	11
嘉治美佐子 東京大学大学院 総合文化研究科教授	23
岡田悦子 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	26
片岡貞治 早稲田大学 国際教養学部教授	39
西川恵 毎日新聞社 外信部 専門編集委員	42

セッション2

「中東における平和定着に向けた国際社会への提言」

<パネリスト>

長嶺義宣 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	49
高橋礼一郎 内閣府国際平和協力本部事務局長	60
古本秀彦 内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員	63
滝澤三郎 東洋英和女学院大学教授 兼 国連 UNHCR 協会理事長	77
西川恵 毎日新聞社 外信部 専門編集委員	79

総括

明石康 日本政府代表 スリランカ平和構築及び復旧・復興担当	85
-------------------------------	----

閉会

出演者プロフィール

総合司会

福島 安紀子（ふくしま あきこ）

東京財団 上席研究員

1994年米国ジョーンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院(SAIS)より修士号。1997年大阪大学より博士号。総合研究開発機構(NIRA)主席研究員、国際交流基金特別研究員を経て現職。その他、在ブラッセルEUアジアセンター国際諮問委員を兼務。英国国際戦略問題研究所(IISS)、International Studies Association(ISA)会員。主な著作にJapanese Foreign Policy: A Logic of Multilateralism、『レキシコン: アジア太平洋安全保障対話』、『人間の安全保障』、『紛争と文化外交』等。

開会挨拶

高橋礼一郎（たかはし れいいちろう）

内閣府国際平和協力本部事務局長

東京大学教養学部卒業。1980年外務省入省。アジア局南東アジア第一課、経済局技術協力課、在フィリピン日本大使館一等書記官、在アメリカ合衆国日本大使館参事官、アジア大洋州局南東アジア第一課長、大臣官房報道課長、在インド日本大使館公使、国際協力局参事官、在大韓民国日本大使館総括公使等を歴任。2011年1月から在アフガニスタン日本国大使館大使。2012年9月より現職。

基調講演

明石 康（あかし やすし）

スリランカ平和構築及び復旧・復興担当日本政府代表、(公財)国際文化会館理事長

54年東大卒。バージニア大学大学院、フレッチャー・スクール大学院に留学後、57年日本人としての国連職員第1号となる。70年代には日本政府国連代表部で参事官、公使、大使を務める。その後国連の広報担当事務次長、軍縮担当事務次長を歴任。92年カンボジア暫定統治機構(UNTAC)の国連事務総長特別代表、94年から旧ユーゴスラビア問題担当国連事務総長特別代表。97年12月人道問題担当事務次長を最後に退官。99年2月まで広島平和研究所初代所長。現在、公益財団法人国際文化会館理事長、スリランカ平和構築及び復旧・復興担当の日本政府代表。公益財団法人ジョイセフ会長、神戸大学特別教授、明石塾塾長等も務める。著書に、『生きることに心せき』（中央公論新社、2001年）『国際連合 軌跡と展望』（岩波新書、2006年）『戦争と平和の谷間で一国境を超えた群像』（岩波書店、2007年）、『「独裁者」との交渉術』（集英社新書、2010年）等。

セッション1 「国連・地域機構によるアフリカの平和維持活動の現状と課題」

都築 正泰（つづき まさやす）

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第12期生

上智大学比較文化学部比較文化学科卒。東京大学公共政策大学院修了（公共政策学修士）。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。2009年6-7月、国際連合（国連）本部事務局政務局安保理部安保理官房課インターン研修。2009-2011年、国連日本政府代表部専門調査員（安保理（西アフリカ案件、文書手続作業部会）、総会（第5委員会）、平和構築委員会各担当官）。2012年2-5月、外務省国際平和協力調査員。2013年4月より国際平和協力研究員として勤務。主な研究業績として「S5 安保理作業方法改善決議案にみる国連安保理改革の政治力学」、日本国連学会編『国連研究 14「法の支配」と国際機構-その過去・現在・未来』（2013年7月）171-199頁。

嘉治 美佐子（かじ みさこ）

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻・「人間の安全保障」プログラム教授

東京大学経済学部、オックスフォード大学大学院修士課程修了。1981年外務省入省。2012年8月より東京大学に出向。外務省中東アフリカ局審議官、国際連合（国連）日本政府代表部公使、国連行財政問題諮問委員会（ACABQ）委員、小泉内閣総理大臣副広報官、緒方国連難民高等弁務官特別顧問、外務省人権人道課長、在越日本大使館参事官などを歴任。現在、国連平和構築基金（PBF）諮問グループ委員を務める。

岡田 悦子（おかだ えつこ）

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第11期生

2004年中央大学大学院法学（国際法）修士取得、2006年パリ第十大学法学（国際経済法・EU法）修士取得。その後、外資系法律事務所を経て、2008~09年在ガボン日本国大使館草の根・人間の安全保障無償資金協力外部委嘱員、2010~12年在セネガル日本国大使館専門調査員（政務）。2012年4月より国際平和協力研究員として勤務。

片岡 貞治（かたおか さだはる）

早稲田大学国際教養学部教授

早稲田大学政治経済学部卒業。パリ第一大学政治学博士。1996~2000年在フランス日本国大使館（政務班：中東・アフリカ担当）、2000~2004年日本国際問題研究所（欧州・アフリカ担当研究員）。2004年4月より早稲田大学国際教養学術院に奉職。2006年4月より早稲田大学国際戦略研究所所長。2011年4月より現職。2013年より、アフリカ協会理事を務める。欧州やアフリカ諸国の政治家や政府関係者に知己が多く、世界中に豊富な人的ネットワークを有する。マリのトゥーレ前大統領とは15年来の友人。専門領域は国際関係論、アフリカ紛争・開発、国際安全保障等。『アフリカの姿』（エコハ出版）（2012年）。

西川恵 (にしかわ めぐみ)

毎日新聞社 外信部専門編集委員

1971年東京外国語大学(中国科)卒、毎日新聞社入社。1982年～84年テヘラン支局、86年～93年パリ支局長、96年～98年ローマ支局長。98年～2001年外信部長。論説委員を経て02年より現職。国際政治・文化についてのコラム「金言」を毎週金曜日朝刊に執筆。著書に『エリゼ宮の食卓』(新潮社、97年度サントリー学芸賞)、『国際政治のキーワード』(講談社)、『ワインと外交』(新潮社)、『国際政治のゼロ年代』(毎日新聞社)、『饗宴外交—ワインと料理で世界はまわる』(世界文化社)など。共訳に『超大国アメリカの文化力』(岩波書店)。青山学院大学、東京外語大学非常勤講師、フランス政府農事功労賞、フランス国家功労賞。

セッション2 「中東における平和定着に向けた国際社会への提言」

長嶺 義宣 (ながみね よしのぶ)

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第12期生

ジュネーブ高等国際問題研究所と早稲田アジア太平洋研究科で国際関係学修士号取得。国際移住機関(IOM)ジュネーブ本部で、主に紛争・復興地域における事業計画に携わった後、パキスタンに赴任。アフガニスタン大統領在外選挙の管理支援に関わり、インドネシアのアチェでは津波復興支援活動に従事した。2005年に赤十字国際委員会(ICRC)の国際救援要員となり、コンゴ民主共和国、アフガニスタンで支援・保護活動に従事。2009年2月に駐日事務所を設立し、2012年7月まで駐日代表を勤める。平和・安全保障研究所(RIPS)の14期生。2010年ダボス会議のヤング・グローバル・リーダーに選出。現在、東京大学大学院の人間の安全保障プログラムの博士課程に在籍。独、仏可。

古本 秀彦 (ふるもと ひでひこ)

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第12期生

サセックス大学で現代紛争平和学修士号取得。日本紛争予防センターにて、スリランカおよび東京事務所で勤務し、平和構築支援、地雷除去プロジェクト、小型武器対策等に関わる。国際協力機構平和構築支援チーム、ウガンダ事務所、東ティモール事務所で復興、平和構築支援の計画策定、評価、案件形成に携わる。広島平和構築人材育成センターの初年度立ち上げののち、日本政府ネパール制憲議会選挙監視団参加、JICA シエラレオネ地方開発調査団参加、またコンサルタントとして国連人間の安全保障基金の第三者評価を行なう。2010年より、国連難民高等弁務官事務所イラン事務所、イエメン事務所で勤務し、アフガニスタン難民支援、ソマリア・エチオピア難民支援、イエメン国内避難民支援を実施。

滝澤 三郎 (たきざわ さぶろう)

東洋英和女学院大学大学院教授、国連 UNHCR 協会理事長

東京都立大学大学院博士課程を経て法務省入省。カリフォルニア大学バークレー経営大学院修了後、1981年国連ジュネーブ本部採用。UNIDO(国連工業開発機構)ウィーン本部財務部長などを経て2002年から06年までUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)ジュネーブ本部財務局長。07年から08年8月ま

で UNHCR 駐日代表。国連大学客員教授を経て現職。アメリカ公認会計士。